



MTX-MRX Migrator 操作ガイド

目次

はじめに	3
本書の内容について	3
MTX-MRX Migrator の動作環境	3
ソフトウェアのインストール	4
MTX-MRX Migrator をインストールする	4
データ移行の仕組み	5
移行対象のパラメーター	6
MTX-MRX Migrator の使用方法と画面の説明	7
使用方法	7
画面の説明	9

はじめに

アプリケーションソフトウェア MTX-MRX Migrator は、MTX-MRX Editor のプロジェクトファイルをもとに、MTX および MRX シリーズの設定を ProVisionaire Design 用の設定データに移行するツールです。

この操作ガイドでは、MTX-MRX Migrator の機能と使用方法について説明しています。

本書の内容について

- このソフトウェアおよび操作ガイドの著作権は、すべてヤマハ株式会社が所有しています。
- このソフトウェアおよび操作ガイドの一部、または全部を無断で複製・改変することはできません。
- このソフトウェアおよび操作ガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアおよび操作ガイドは、改良のため予告なしに変更されることがあります。
- このソフトウェアはタッチパネル操作による動作の保証はしていません。
- この操作ガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation およびその他の国における登録商標です。
- この操作ガイドに記載されている会社名および商品名などは各社の登録商標または商標です。
- この操作ガイドは発行時点での最新仕様で説明しています。

MTX-MRX Migratorの動作環境

このソフトウェアは Windows 11 上で動作します。



お知らせ

お使いのコンピューターによっては、推奨環境以上の条件を必要とする場合があります。
ソフトウェアの最新バージョンおよび動作環境については、ヤマハウェブサイトの最新情報を参照してください。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<https://www.yamahaproaudio.com/>

ソフトウェアのインストール

MTX-MRX Migratorをインストールする

MTX-MRX Migrator のインストールファイルを PC にダウンロードし、インストールしてください。

1. MTX-MRX Migrator のインストールファイル（最新版）をヤマハウェブサイトからダウンロードします。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<https://www.yamahaproaudio.com/>

2. 圧縮ファイルを展開し、アプリケーションソフトウェアをインストールします。

1. zip ファイルを任意の場所に保存のうえ、展開します。
2. フォルダーの中の Install_MTX-MRX_Migrator.exe ファイルをダブルクリックします。
3. インストーラーの指示に従って、アプリケーションソフトウェアをインストールします。



お知らせ

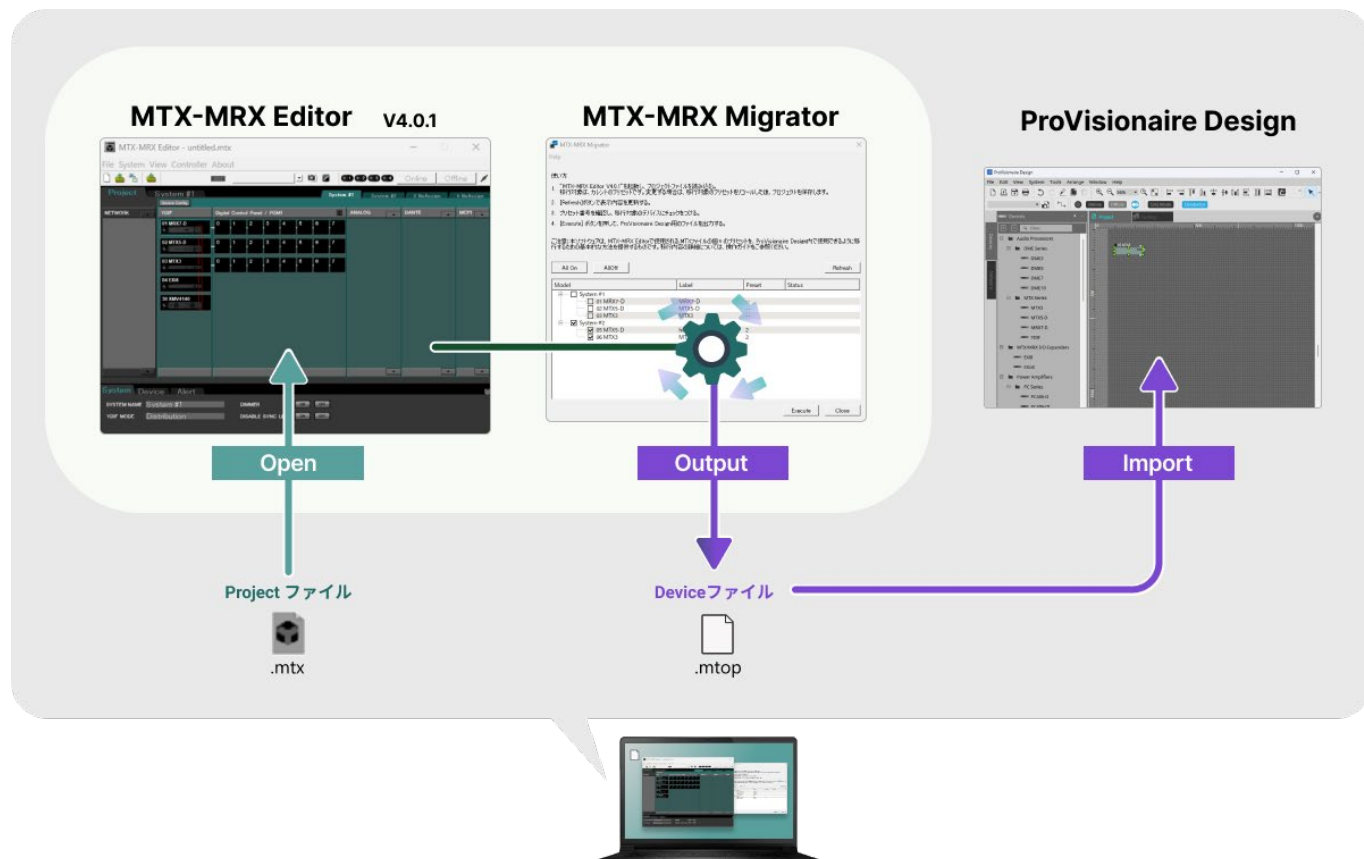
MTX-MRX Migrator のインストールに加えて、MTX-MRX Editor（バージョン 4.0.1）と ProVisionaire Design（バージョン 3.1 以降）のインストールが必要です。

MTX-MRX Editor と ProVisionaire Design についての詳細は、ヤマハウェブサイトを参照してください。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<https://www.yamahaproaudio.com/>

データ移行の仕組み

以下に、MTX-MRX Migrator によるデータ移行の概念図を示します。



- MTX-MRX Migrator は、MTX-MRX Editor のカレント情報を取得します。データ移行処理を実行する前に、MTX-MRX Editor で移行対象のプリセットをリコールし、プロジェクトを保存してカレント情報を最新の状態にしてください。
- MTX-MRX Migrator 側で表示をリフレッシュし、プリセットの番号が正しく変更されたことを確認した後、データ移行処理を実行してください。

移行対象のパラメーター

MTX-MRX Editor が対象とする 3 つのモデル (MTX3、MTX5-D、MRX7-D) のデータを移行できます。



お知らせ

- バージョン 4.0.0 より古い MTX-MRX Editor で作成したデータは、最新のバージョン 4.0.1 の MTX-MRX Editor で保存し直してから移行処理を実行してください。
- MTX-MRX Editor が対象とする上記以外のモデル (例: XMV シリーズ、EXio シリーズ、DCP シリーズ など) のデータ移行には対応していません。

MTX-MRX Editor から ProVisionaire Design へのパラメーターの移行可否は、以下をご参照ください。

✓ : Supported (移行可) × : Not Supported (移行不可) — : Not Available (当該機能なし)

機能		MTX Series	MRX Series
デバイス情報	共通		
	DEVICE NAME	✓	✓
	UNIT ID	✓	✓
	「Word Clock」ダイアログの設定	✓	✓
	「Match Device by IP Address」ダイアログの設定	×	×
	「Remote Control」ダイアログの設定	✓	✓
Current Parameter	MTX Series		
	「MTX Configuration」ダイアログの設定	✓	—
	MRX Series		
	コンポーネントの配置※	—	✓
	ポート間の結線	—	✓
	「Transmitter/Receiver」コンポーネントの設定	—	✓
	「User Defined Block」コンポーネントの設定	—	✓
	User Defined Block の保護	—	✓
	デザインシート上のテキストボックス	—	✓
	共通		
	カレントパラメーター	✓	✓
	Mini-YGDAI カードの選択	✓	✓
Preset/Snapshot	MRX Series		
	パラメーターセット	—	×
	スナップショット	—	×
	共通		
	プリセット	×	×
その他設定	MRX Series		
	「Remote Control Setup List」ダイアログの設定	×	×
	共通		
	システム構成	×	×
	「Scheduler」ダイアログの設定	×	×
	「GPI」ダイアログの設定	×	×
	「External Events」ダイアログの設定	×	×
	「Digital Control Panel」ダイアログの設定	×	×
	「Wireless DCP」ダイアログの設定	×	×

※「Revolabs Control」コンポーネントを含む配置には対応していません。

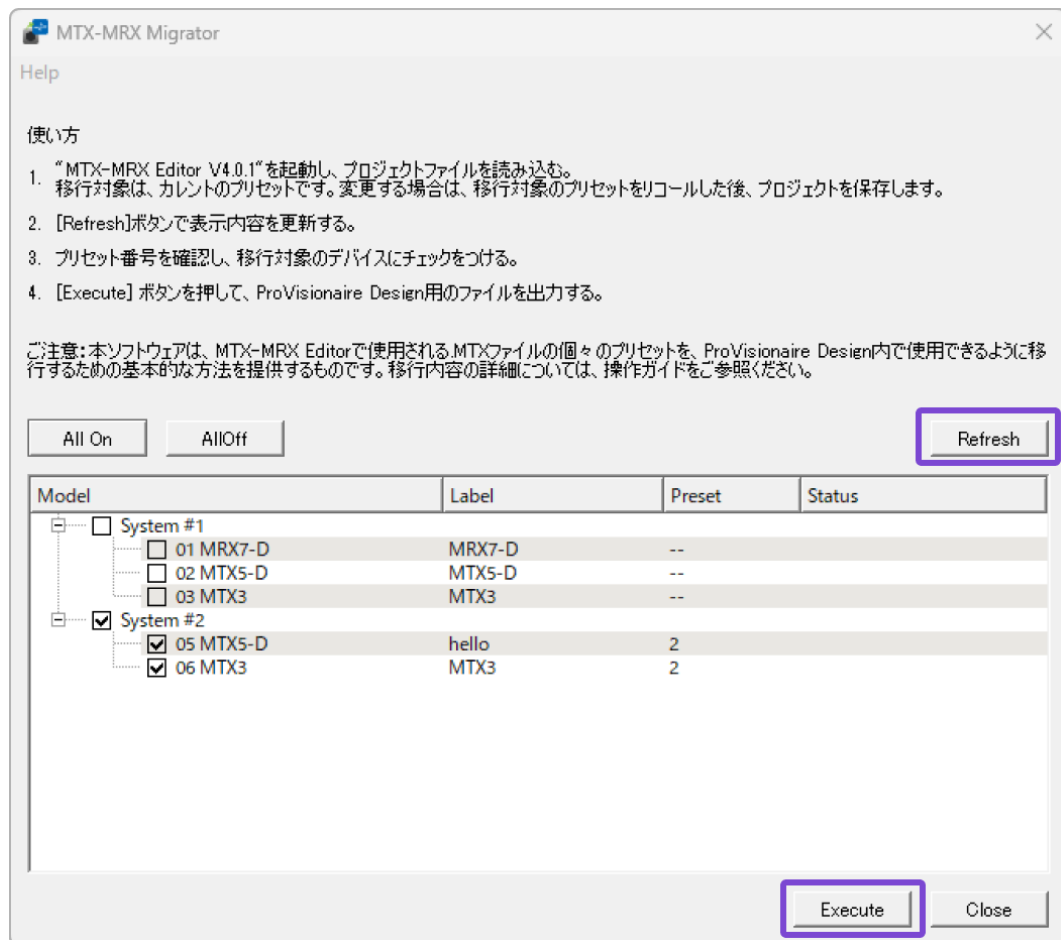
MTX-MRX Migratorの使用方法と画面の説明

使用方法

1. MTX-MRX Editor（バージョン 4.0.1）を起動し、プロジェクトファイルを開く。

2. MTX-MRX Migrator を起動する。

MTX-MRX Editor の画面に表示されているシステム（MTX または MRX）が、MTX-MRX Migrator の画面に表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、[Refresh]ボタンを押してください。



お知らせ

- MTX-MRX Migrator や MTX-MRX Editor は、同時に複数起動しないでください。複数起動をすると、正常にデータ移行処理が行われない場合があります。

3. 移行対象のモデルにチェックをつけ、[Execute]ボタンをクリックする。

チェックしたモデルのプリセットごとに、ProVisionaire Design でインポート可能なファイル（.mtop ファイル）がそれぞれ出力されます。

必要に応じて、プリセットごとにデータ移行処理を実行してください。

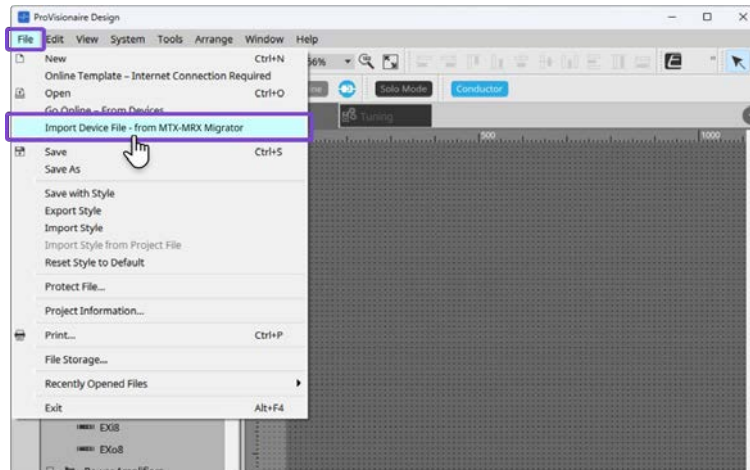


お知らせ

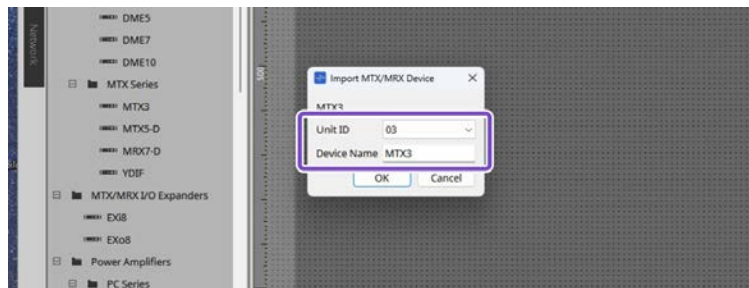
- MTX-MRX Migrator は、MTX-MRX Editor のカレント情報を取得します。データ移行処理を実行する前に、MTX-MRX Editor で移行対象のプリセットをリコールし、プロジェクトを保存してカレント情報を最新の状態にしてください。
- MTX-MRX Migrator 側で表示をリフレッシュし、プリセットの番号が正しく変更されたことを確認した後、データ移行処理を実行してください。

4. ProVisionaire Design（バージョン 3.1 以降）を起動し、出力したファイルをインポートする。

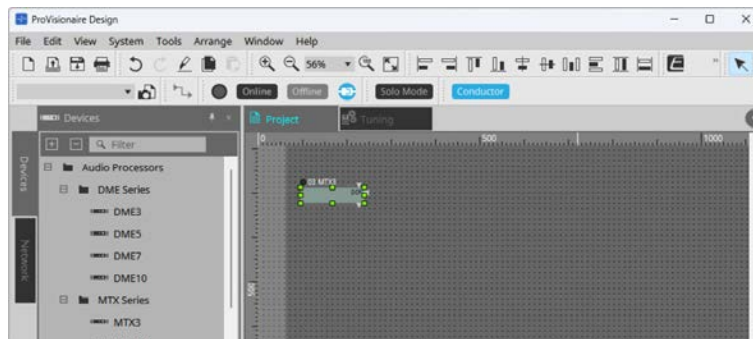
[File]メニューから、[Import Device File - from MTX-MRX Migrator]を選択し、Migrator の出力ファイル(.mtop) を読み込みます。



デバイス追加のポップアップウィンドウが表示されるので、必要に応じて Unit ID とデバイス名を変更します。



Project シートにデバイスが追加されます。

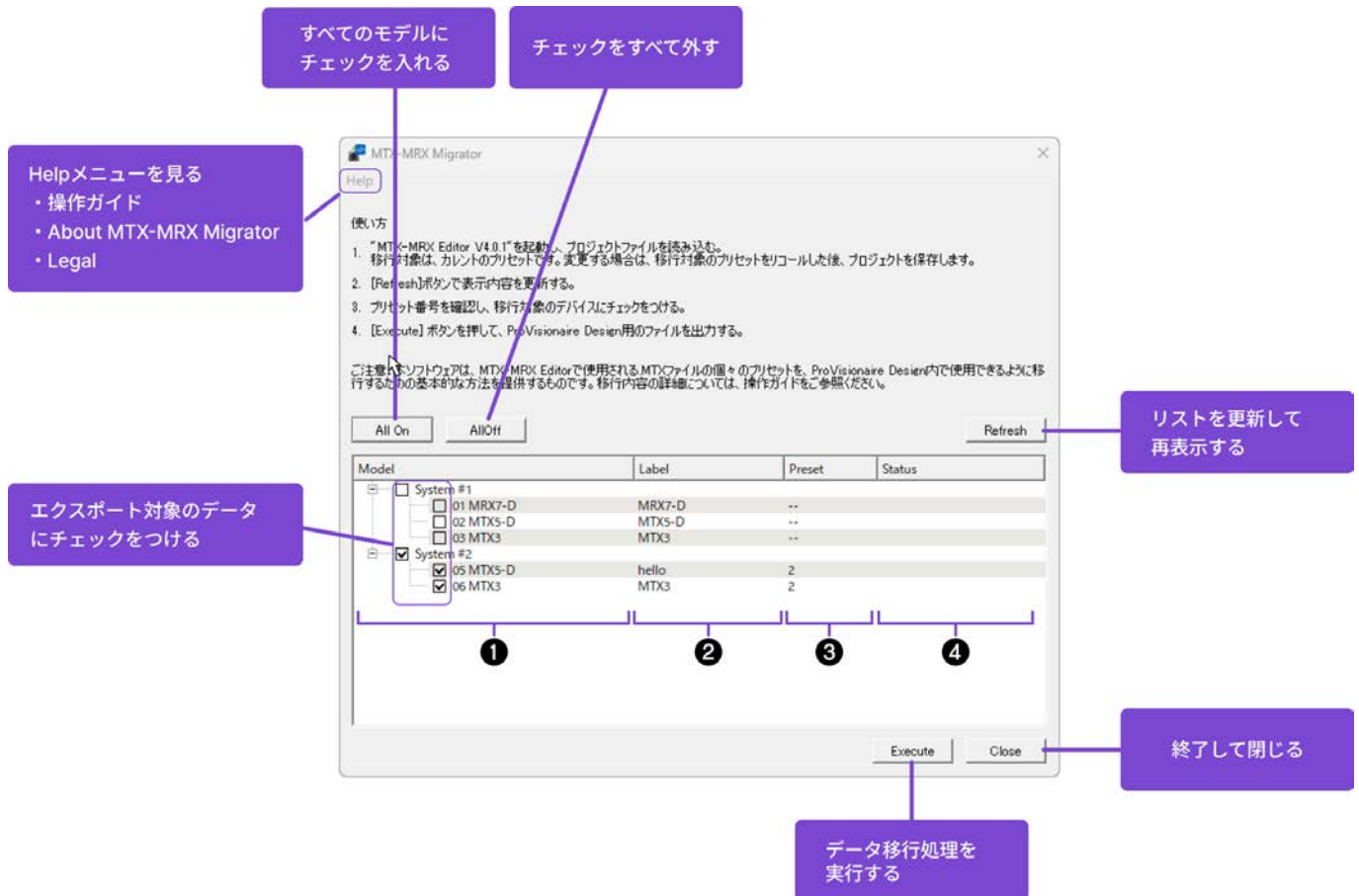


お知らせ

- 複数のプリセットを移行する場合は、生成された複数の.mtop ファイルを ProVisionaire Design にインポートし、コピー&ペースト機能を利用して、1 つのデバイスのプリセットに集約してください。
- MRX7-D のデザインシートでは、コンポーネントの配置やポート間の結線が重なって表示されたり、レイアウトが整って表示されない場合があります。その際は、対象のコンポーネントを選択して再配置のうえ、表示を修正してください。

画面の説明

MTX-MRX Migrator の画面について、補足説明を以下に示します。



- ① Unit ID とモデル名
- ② ラベル名
- ③ カレントのプリセット番号
- ④ データ移行処理の結果

